

様式第24号(第20条関係)

年 月 日

岡山県知事 殿

管理者 住所
" 氏名 (印)
電話 ()

診療用高エネルギー放射線発生装置(診療用粒子線照射装置)設置届

診療用高エネルギー放射線発生装置(診療用粒子線照射装置)を設置したいので、医療法(昭和23年法律第205号)第15条第3項の規定により、次のとおり届け出ます。

記

- 1 病院(診療所)の名称
- 2 所在地
- 3 設置予定年月日 年 月 日
- 4 使用開始予定年月日 年 月 日
- 5 診療用高エネルギー放射線発生装置(診療用粒子線照射装置)及び施設の概要 別紙のとおり

別紙

病院又は診療所の名称		整理番号	1	2	
所在地		区分			
診療用高エネルギー放射線発生装置(診療用粒子線照射装置)	製作者名				
	型式及び製造年月日				
	定格出力等	エックス線	最大エネルギー		
			最大出力		
		電子線	最大エネルギー		
			最大出力		
		陽子線	最大エネルギー		
			最大出力		
	重イオン線	重イオンの種類			
		最大エネルギー			
最大出力					
術中照射(移動型)					
装置の防護	発生管容器(照射管容器)の利用線錐以外の放射線量が利用線錐の放射線量の1000分の1以下であること。		以下・超える	以下・超える	
	照射終了直後の不必要な放射線からの防護措置		有・無	有・無	
	放射線発生自動表示装置(放射線照射自動表示装置)		有・無	有・無	
	出入口開放時の自動回路開放位保持装置(インターロック)		有・無	有・無	
使用室	使用室名				
	使用室の構造				
	材質・厚さ	天井			
		床			
		壁			
		監視用窓(箇所数)	()	()	
	出入口の数及び扉の構造				
画壁等の外側における実効線量が1ミリシーベルト/週以下であること。		適・否	適・否		
常時出入りする出入口は1箇所とし、当該出入口には放射線発生自動表示装置が設置されていること。		適・否	適・否		
使用室である旨の標識		有・無	有・無		

管理区域	管理区域である旨の標識		有 ・ 無	有 ・ 無		
	区域の外側における実効線量が1.3ミリシーベルト/3箇月以下となる措置		適 ・ 否	適 ・ 否		
	管理区域の境界における立入制限措置		有 ・ 無	有 ・ 無		
その他	注意事項の掲示(従事者)		有 ・ 無	有 ・ 無		
	注意事項の掲示(患者)		有 ・ 無	有 ・ 無		
	敷地内の居住区域及び境界の実効線量が250マイクロシーベルト/3箇月以下となる措置		適 ・ 否	適 ・ 否		
	その他の患者の被ばくする放射線の実効線量が1.3ミリシーベルト/3箇月以下となる措置		適 ・ 否	適 ・ 否		
従事者の放射線測定器						
被ばく防止のための器具						
事故発生時の連絡網及び通報基準・通報体制の整備			有 ・ 無			
診療用高エネルギー放射線発生装置(診療用粒子線照射装置)を使用する医師, 歯科医師, 診療放射線技師	職	種	氏	名	免許番号及び取得年月日	放射線診療に関する経歴

(注意事項)

- 「区分」欄については、新設、廃止又は更新の別を記入し、更新については例えば「1(整理番号)の更新」のように記入すること。
- 「術中照射(移動型)」欄については、手術室で術中照射を行う場合に「移動型」と記入し、該当しない場合は「—」と記入すること。
- 「移動型」の場合は、「使用室名」欄には保管場所を記入すること。
- 診療用粒子線照射装置を設置する場合は、「術中照射(移動型)」欄は記入不要である。

(添付書類)

- 施設の放射線防護に関する遮蔽計算書
- 図中に放射線取扱施設の場所を明示した病院(診療所)の全体図面
- 隣接室名, 上階及び下階の室名, 周囲の状況, 管理区域の範囲及びその標識並びに使用中ランプ等の位置を明示した放射線取扱施設の平面図(詳細図)及び立面図
- その他参考となる資料(カタログ等)
- 移動型については前記の添付書類に代えて, 保管場所, 使用場所, 移動使用目的, 防護措置の概要及び管理方法を記載した説明書, 機器の性能等を記載した仕様書及びカタログ等